

## 1. 準備

(製品名・機種型番等は、現時点でバイオバンクが採用しているものを提示している)

- バキュテイナ採血管® (血清分離剤入り) 5 mL (日本ベクトン・ディッキンソン) またはインセパック®II-D (凝固促進剤/分離剤入り) 5 mL (極東製薬工業)
- 1.0 mL 2Dバーコード付チューブExternalキャップ (FCR & Bio または ワケンビーテック)
- 1.0 mL 2Dバーコード付チューブExternalキャップ対応フリーズボックス196穴 (14×14) (FCR & Bio または ワケンビーテック)



バキュテイナ採血管® (血清分離剤入り) 5 mL  
(日本ベクトン・ディッキンソン)

または

インセパック®II-D (凝固促進剤/分離剤入り) 5 mL  
(極東製薬工業)



1.0 mL 2Dバーコード付チューブ  
Externalキャップ  
(FCR & Bio または ワケンビーテック)

## 2. 採血と分離

- 2-1. 準備した採血管に採血した後、血液が固まるまで静置。
- 2-2. 2,330~2,360×g、5分間遠心分離。
- 2-3. 冷蔵庫に一時保存 (保存時間は個別検体情報として記録)

※バイオバンクでは採血を担当しておりません。

※遠心分離前もしくは、遠心分離後、臨床検査部で一時冷蔵保存せずにバイオバンクに移送する場合もある。遠心分離前のものについては、バイオバンクにて遠心分離する。

## 3. 分注

- 3-1. 保存している血清をバイオバンクに移送 (on ice)。
- 3-2. 検体番号ラベルを貼ったチューブに (300  $\mu$ L/tube) 分注。

## 4. 保管

- 4-1. チューブはフリーズボックスに並べ、超低温 (-80℃) フリーザーで保管。
- 4-2. 検体管理システムに検体情報を入力。

- 採取～超低温 (-80℃) フリーザーでの保管は24時間以内に行う。
- 作業環境温度：室温 (12℃~28℃) で実施